

みやぎの教員に 求められる 資質能力 (指標)	指標経験段階	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期	総合研修		
	指標資質能力	授業力	生徒指導力	子供理解	学校を支える力	教育への情熱	たくましく 豊かな人間性	自己研鑽力
		保健管理力	保健教育力					
		リーダーとしての 基本的な素養	学校経営能力	組織管理運営能力	外部連携能力	人材育成能力		

希望	研修	選択研修等	初任研3年目	中堅研	中堅実助	中堅養教	免外
----	----	-------	--------	-----	------	------	----

研修会 番号	G0500	子供のこころサポート訪問支援研修会 ～心理的ケアによる安心で安全な学校づくり～	別途申込 [5 校]
-----------	-------	--	-----------------

目的・ねらい	心理的ケアに必要な知識・技術を身に付け、児童生徒の学校不適応や問題行動等に適切に対応できるよう、学校単位での研修会を実施する。 特に、災害後期における心のケアとして、トラウマインフォームド・ケアの観点から児童生徒の理解を深める。
--------	---

【受講対象者】

設立区分	校種							
県立等	中学校	高等学校	特支幼稚部	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	学校以外
市町村立	幼稚園等	小学校	小(義・併)	中学校	中(義・併)	高等学校		
仙台市立	幼稚園等	中等教育学校	高等学校	特支小学部	特支中学部	特支高等部	特支他	
私立	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特支高等部	特支他		
その他	聴講(農業大学校・仙台高等専門学校・宮教大附属のみ)							

職種							
校長	副校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養職員
実習助手	寄宿舎指導員	講師	事務(事務等)	事務(指主等)	幼稚園教諭	その他	

【研修内容】

会場： 各訪問校	月 日 ()	講義・演習	講義「児童生徒への心理的サポート」または 事例検討「個別の支援の在り方」 講師：精神科医、大学教授、臨床心理士、スクールソーシャルワーカー、保健師等
		講義・演習	講義「児童生徒への心理的サポート」または 事例検討「個別の支援の在り方」 講師：精神科医、大学教授、臨床心理士、スクールソーシャルワーカー、保健師等
事前・事後の eラーニング (詳細はシステム参照)		特になし	

【PR・連絡等】

「トラウマインフォームド・ケア」とは、その人自身が抱えるトラウマや、トラウマが心や体、行動に与える影響を理解し関わっていくことです。 東日本大震災から14年が経過していますが、児童生徒の学校不適応には震災の直接の影響と見られるもののほか、震災による家庭環境・家族構成の変化や経済状況、地域社会の変化等により長期的な影響によるものが含まれているかもしれません。また、トラウマを抱えた児童生徒に接する中で、先生方も同じようなトラウマ反応を示すこともあります。 児童生徒の学校不適応や問題行動等の要因には、児童生徒が震災の影響やトラウマによる傷つきを抱えているかもしれないという視点を持つことにより、よりよい見立てや手立てにつながり、その成長発達を促すことが期待できます。 実施期間 令和7年7月14日(月)から令和7年12月24日(水) 公立の小・中・高・特別支援学校合わせて5校の実施を予定しています。東日本大震災後期の心理的ケアの支援や課題を抱えている沿岸部の学校を対象に実施します。 研修は、午後の2時間程度で構成しますが、夏季・冬季休業期間中に限り、午前の実施も可能です。複数の学校による共同開催にも対応します。 内 容 講義「児童生徒への心理的サポート」、または、事例検討「個別の支援の在り方」の二つの形式から、いずれか一つを選択してください。 申込方法 令和7年5月16日(金)まで、お申し込みください。総合教育センターのホームページにある「研修会情報」内の「様式ダウンロード」から「子供のこころサポート訪問支援研修会申込用紙」をダウンロードし、代表者が総合教育センターに電子メールでお申し込みください。 ※詳細は、令和7年4月中旬頃に、各市町村教育委員会及び各県立学校にメールで通知します。
--